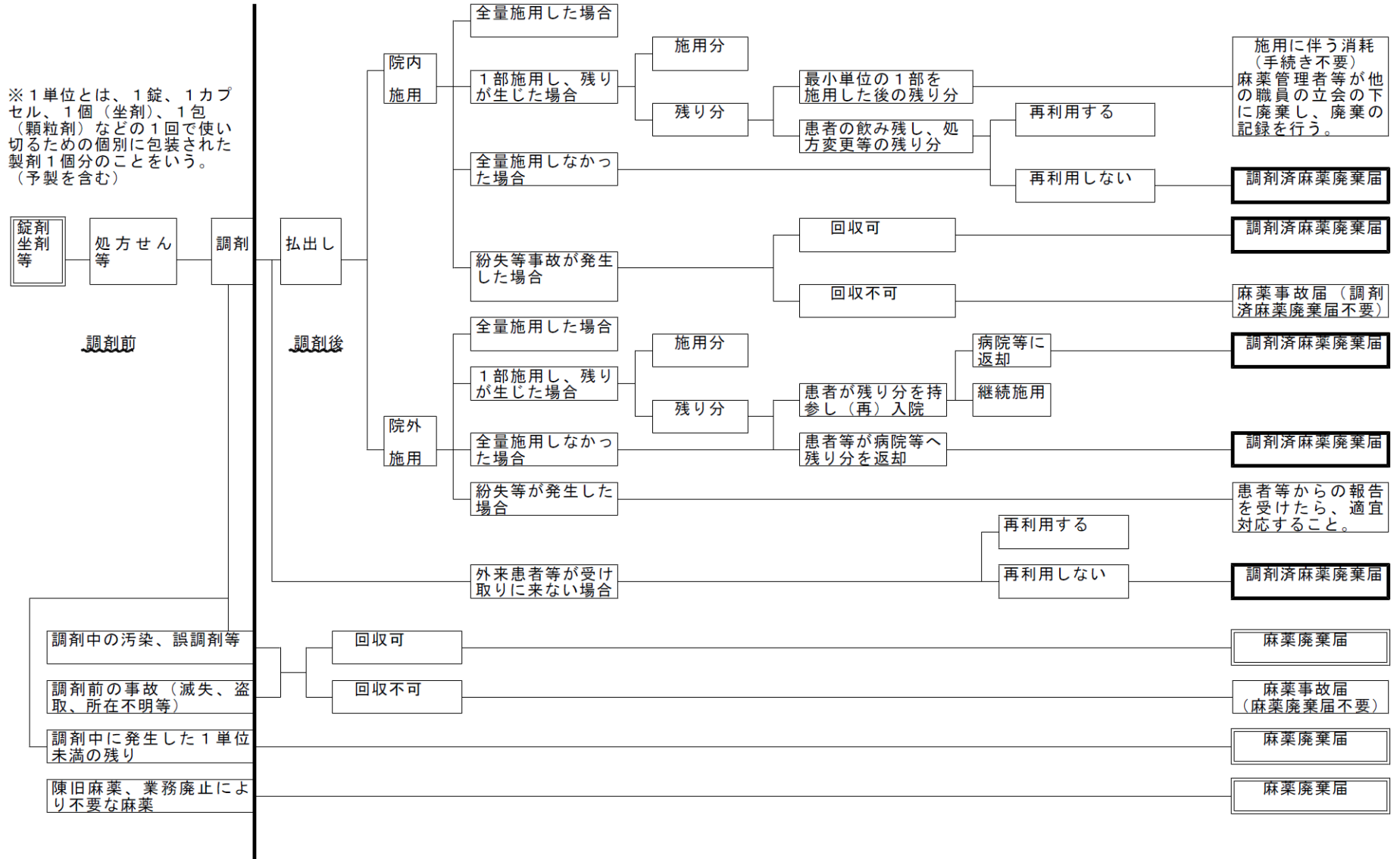
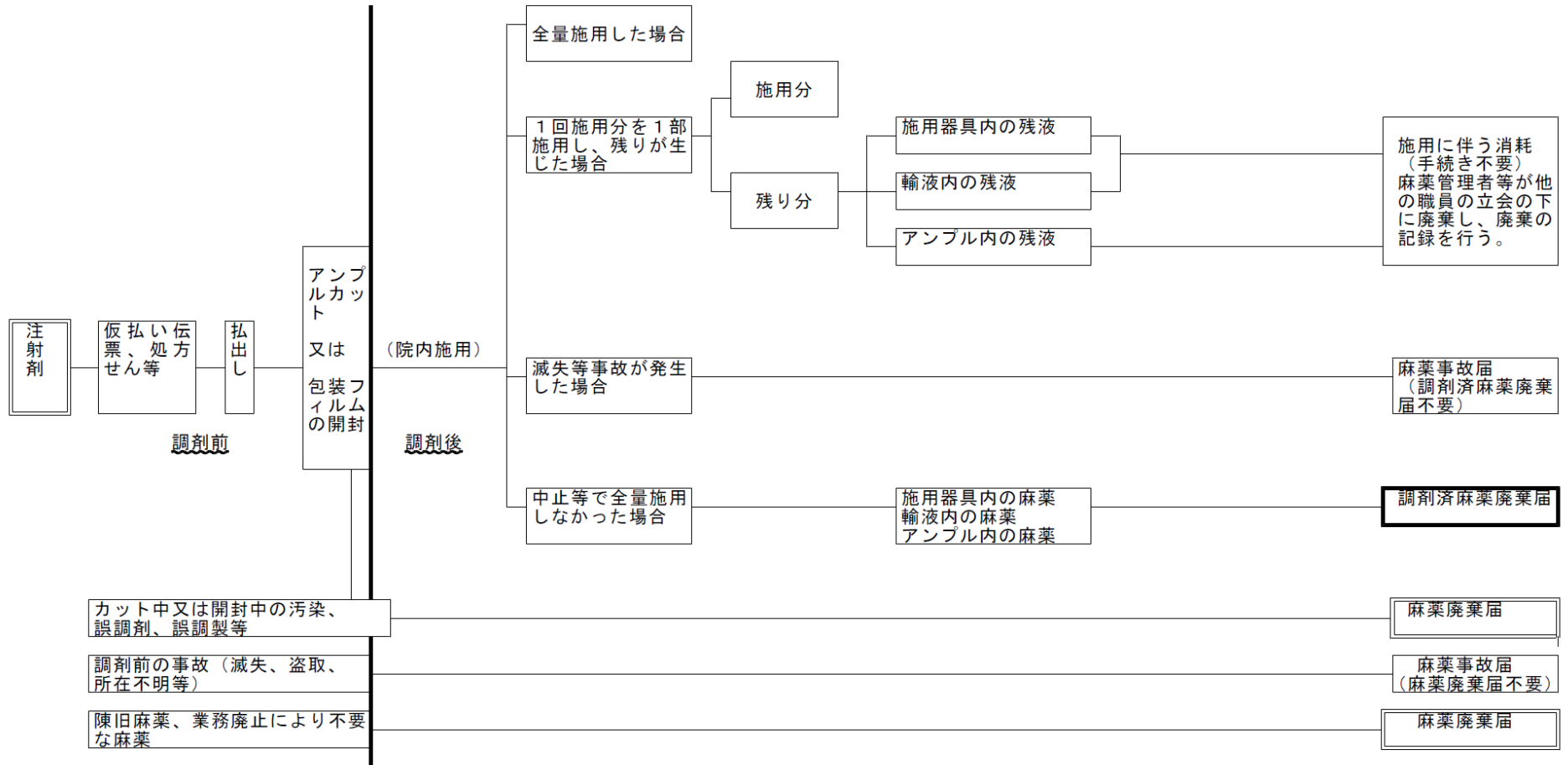


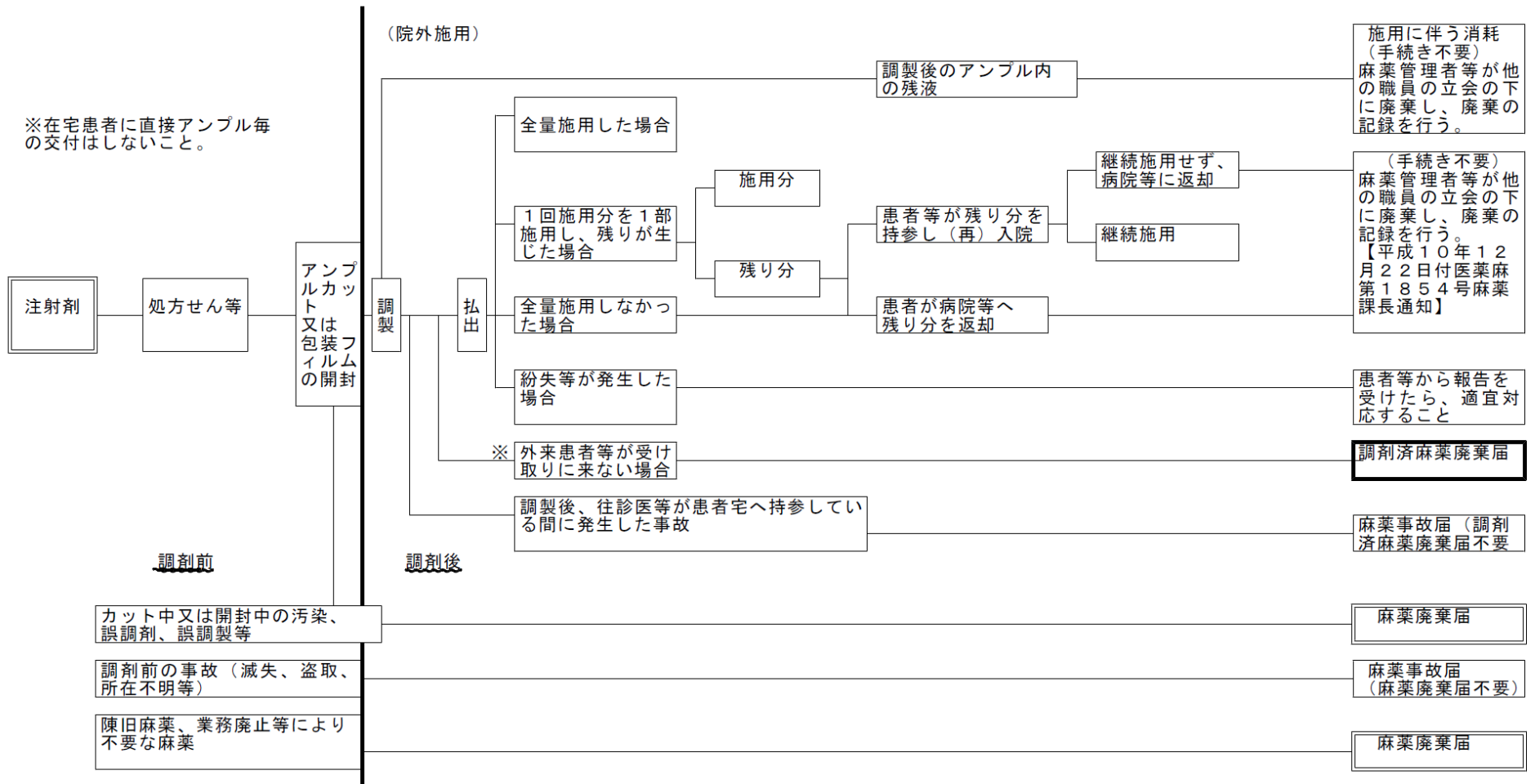
# 図1 1単位を有する剤型の場合（錠剤、カプセル剤、坐剤等）



## 図2 院内施用の注射剤の場合

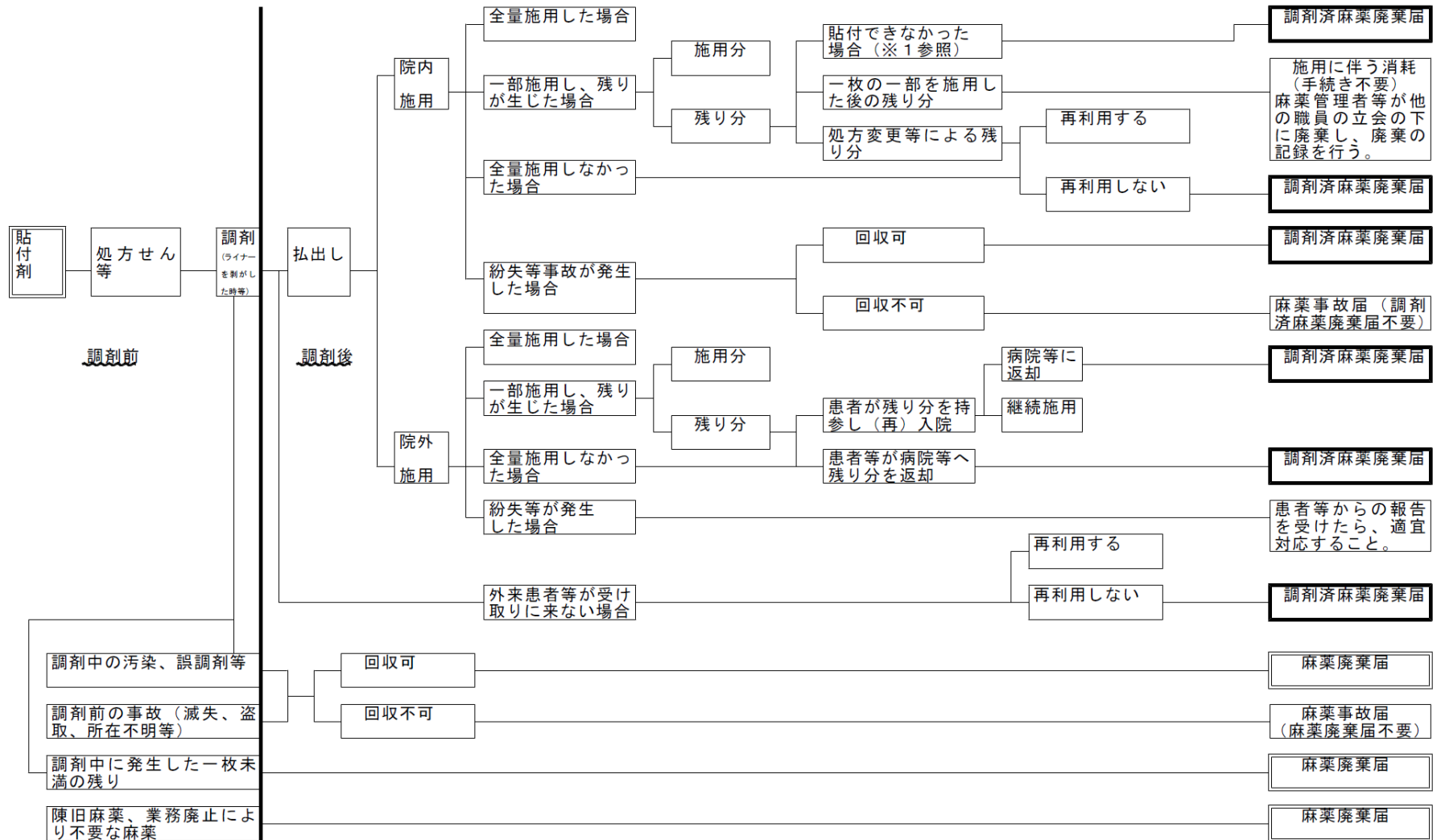


# 図3 院外施用の注射剤の場合（連続注入器等）



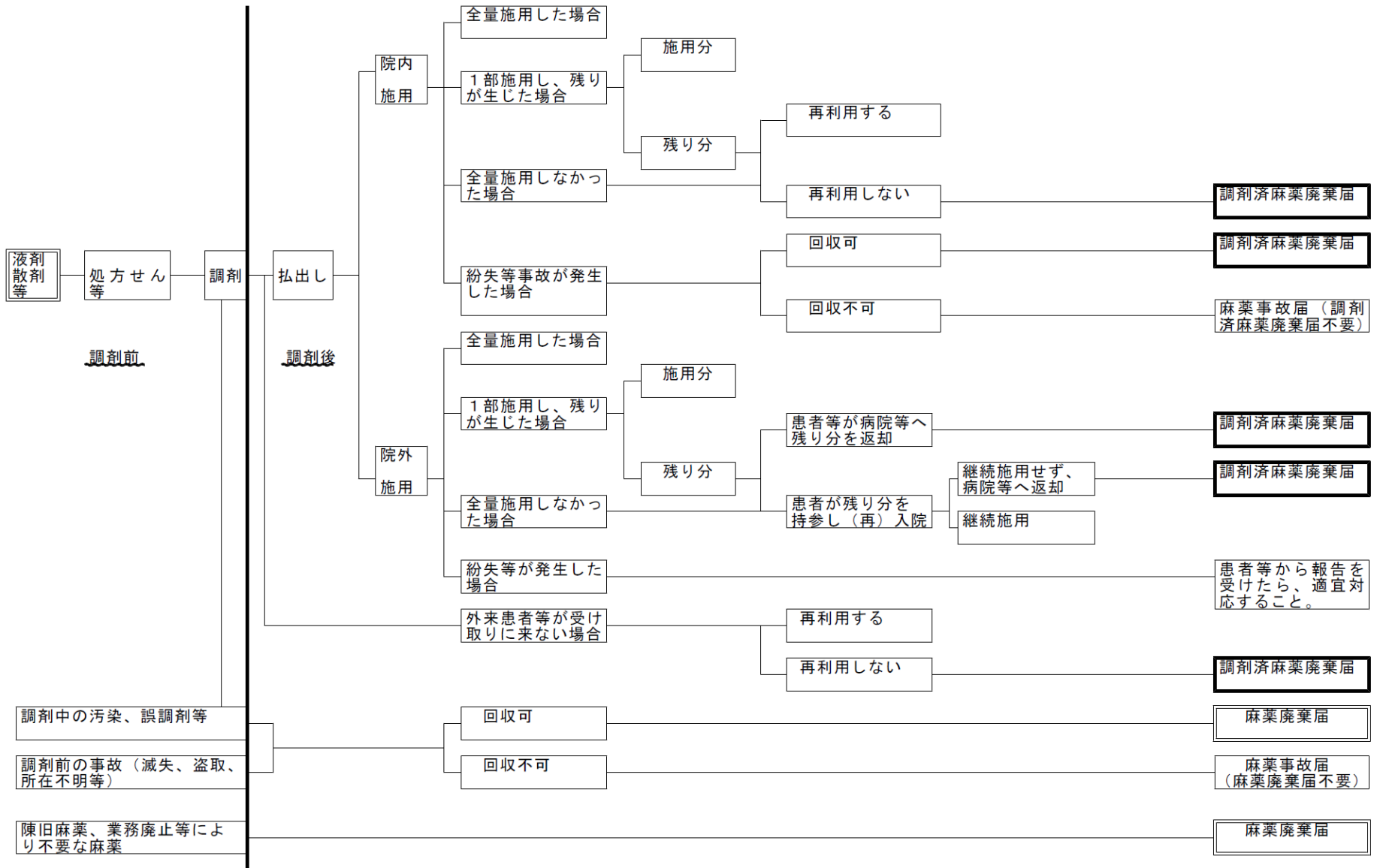
（注意）※ 患者等が一旦処方せんを持参し、再度来訪する旨告げ退出した場合等が該当する。

# 図4 貼付剤の場合



(注意) ※1 ライナーから剥がすのに失敗した場合等が該当する。  
 ※2 施用途中で剥離した場合や途中で施用を中止した場合は、施用済みとして処理すること。  
 ※3 院内で施用済みの貼付剤 (上記※2の場合も含む。) については、麻薬管理者が全て回収し適切に廃棄すること。

# 図5 その他の場合（液剤、散剤等）



# 図6 バイアル製剤の場合

